

博物館総合調査速報版にみる博物館の現在地 ～未来への責任を果たすために～

令和8年度
全国博物館長会議

令和8年7月10日
日本博物館協会 半田 昌之



日本の博物館総合調査

- 昭和49(1974)年以来、日本博物館協会(日博協)が、おおむね5年ごとに全国の博物館を対象に実施している日本の博物館の運営実態に関するアンケート方式の調査。
- 調査対象は、日博協の博物館データベースに登録されている全国約4500施設。
- 第11回目となる今回の調査は、国内4,368の施設を対象に令和6(2024)年度に実施し、2,507施設から回答を得た(解答率:57.4%)。
- 日博協に設置した調査委員会において、集計結果の分析と報告書の作成を進めている。
- 3月31日、調査結果の概要を速報版として公開した。
- 最終報告書は、令和8(2026)年度上半期中の公開を予定している。

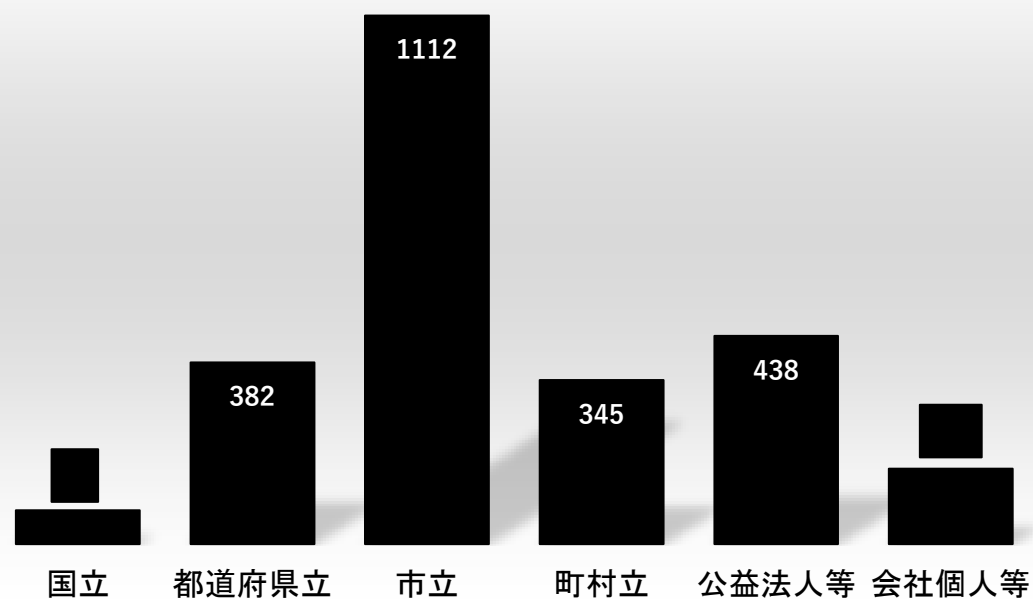
現場での博物館運営の充実にご活用いただければ幸いです。

ご協力いただいた施設の皆さまに改めて心より感謝申し上げます。

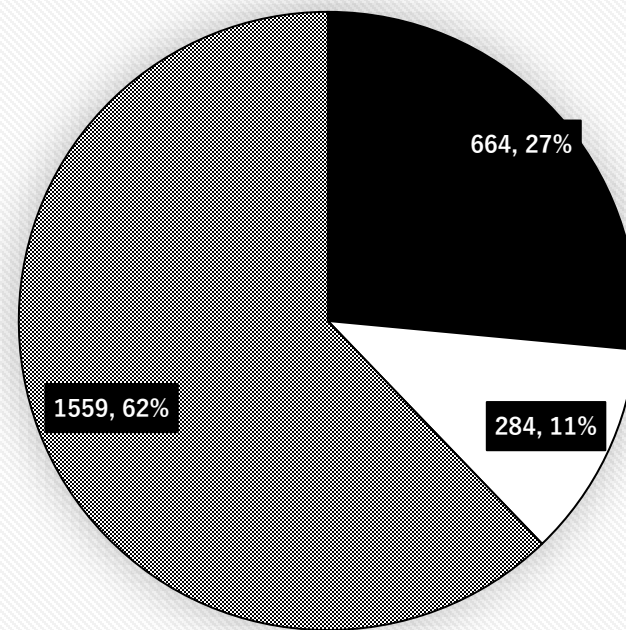
速報版URL :<https://www.j-muse.or.jp/news/detail/?pid=1502>

回答いただいた博物館の類型

設置者



法区分



- 登録博物館(経過措置期間のみなし施設を含む)
- 博物館指定施設(旧博物館相当施設)
- 上記以外の施設(登録・指定以外の通称博物館類似施設)

日本の博物館の典型的な姿

・ 開館からの年数	35年	(+5)
・ 敷地総面積	4,075m ²	(+265)
・ 建物延べ床面積	1,370m ²	(+33)
・ 常勤職員数	3人	
・ 非常勤職員数	0人	(-1) (令和元年：51.9%→48.7%)
・ 学芸員資格保有者常勤職員数	1人	
・ 資料（人文系資料）	3,000点	(+265)
・ 資料（自然系資料）	503件	(+3)
・ 開館日数	300～324日	
・ 入館者数	5,000人未満	(平均値：66,601人)

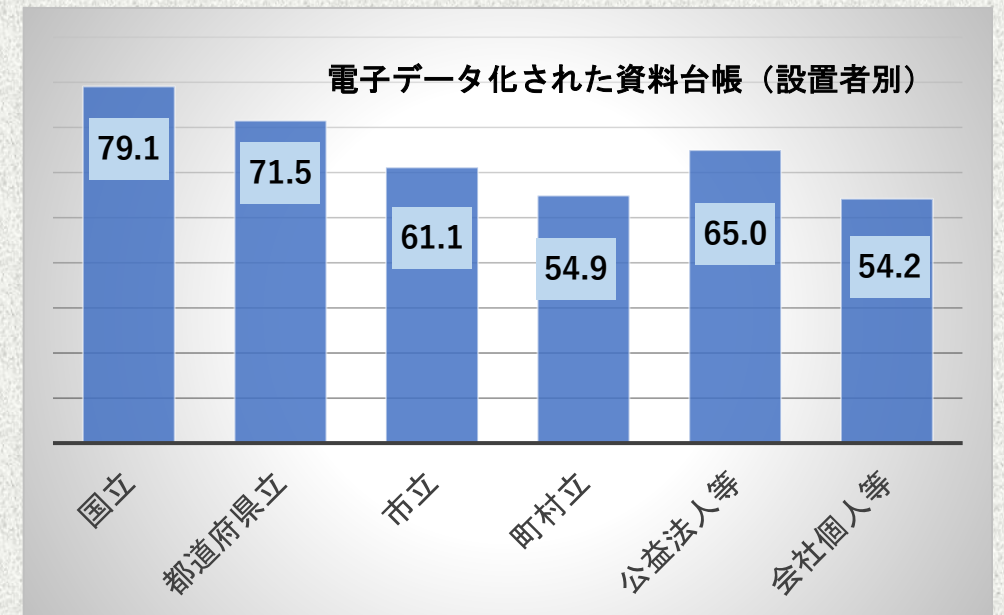
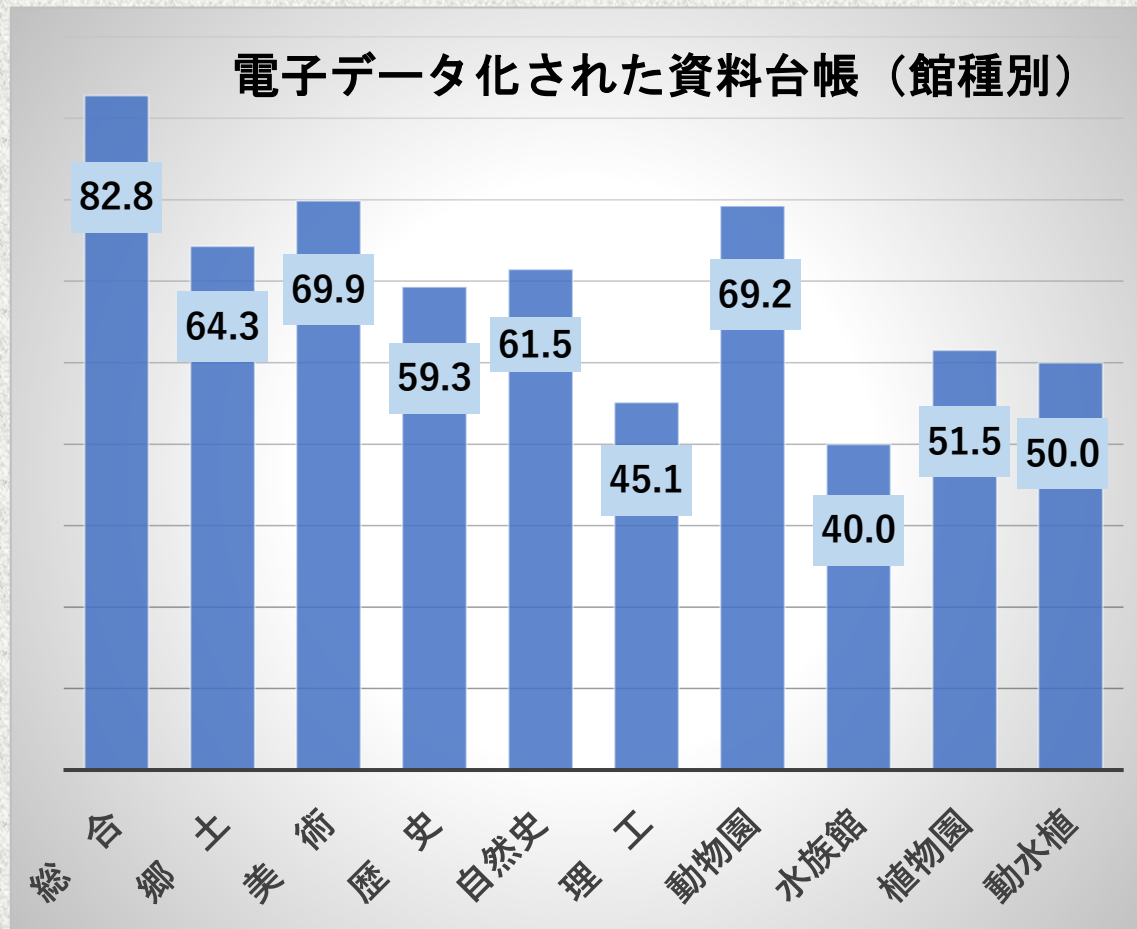
日本の博物館の現在地 1

さまざまな制約の中で「自分たちでできること」に取り組む博物館現場の活動は**進展**
しつつある。

博物館資料のデジタル化

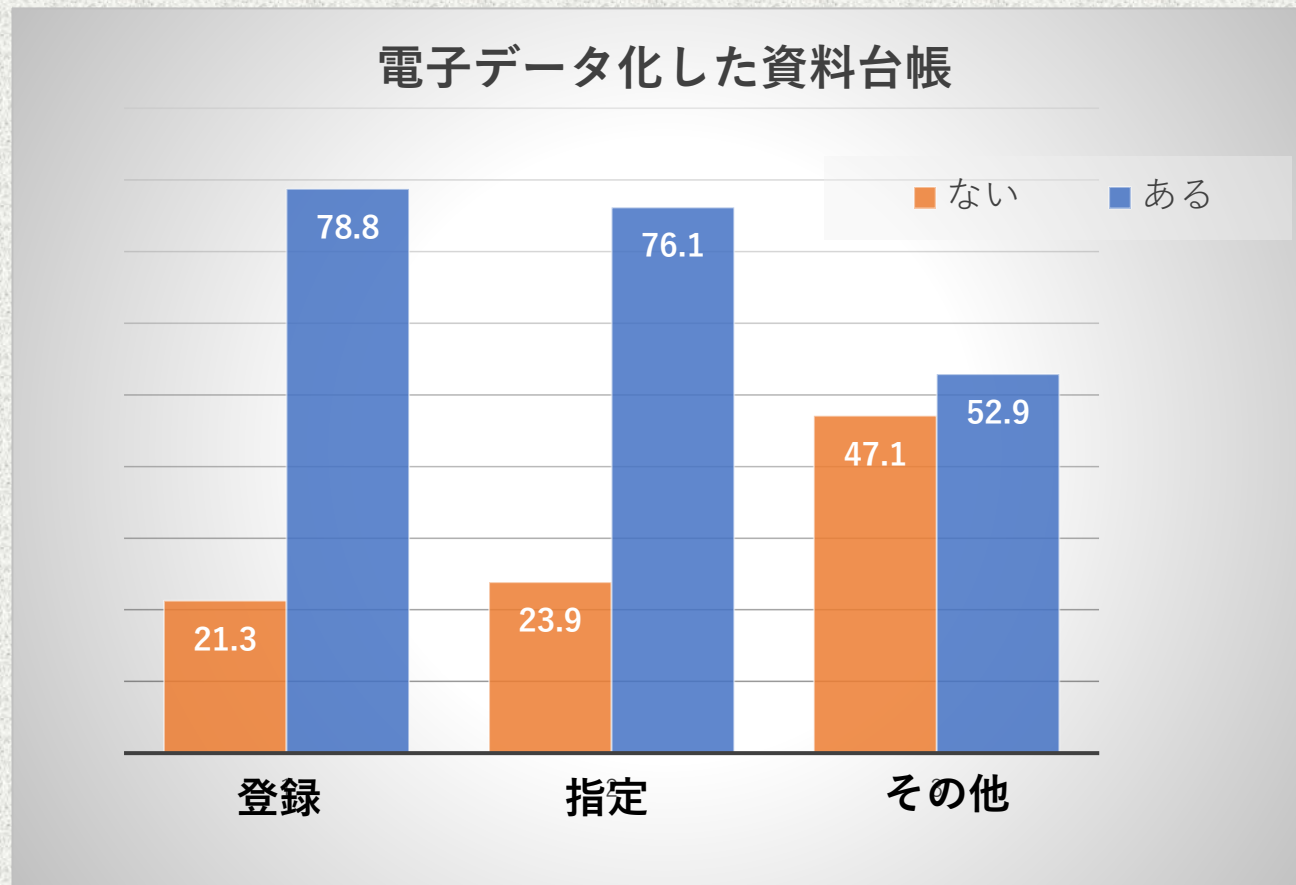
【速報版 6(7)】

- ・ 前回調査から着実に増加(1～2割)
- ・ 全体では62.6%
- ・ 美術館では8割以上
- ・ 国立館も約8割



博物館資料のデジタル化

- ・登録・指定施設以外での取り組みが遅れている
- ・公開は全体的に進んでおらず今後の課題(全体で16.4%)



利用者サービス 【速報版 13・15】

・バリアフリー

- ◆ 車椅子貸出し: 77.5%、多機能トイレ: 76.6%、介助犬同伴OK: 65.3%、
筆談・手話・視聴覚障害者対応: 50.4%、身障者用エレベーター: 45.1%

・多言語化

- ◆ 外国語の館内・展示案内パンフレット: 49.7%

・キャッシュレス決済

- ◆ クレジットカード: 25.2%、電子マネー等: 29.9%

・Wi-Fi

- ◆ 館内の入館者が利用できるWi-Fi: 47.4%

「各博物館の課題」で5割以下の項目 (課題感が減少している項目) 【速報版 21(1)】

「あてはまる」「まああてはまる」の合計が <u>50%以下</u> の項目 (43項目中11項目、降順)	あてはまる・ まああてはまる	前回調査から の増減
F-a) 学校教育との連携が不足	48.6	-0.6
C-d) 館の特色がうまく伝えられていない	43.8	-2.5
A-b) 利用者のニーズに応えられていない	42	-3.1
D-f) 教育普及活動が十分できていない	42.2	-2.4
A-c) 地域の課題に十分応えられていない	40.2	-3.3
G-d) 駐車場が不足	36.4	-2.3
G-e) 施設の耐震化対策が不十分	38.8	0.2
D-g) 館の特色がうまく出せていない (事業展開で)	34	-3.2
A-a) 館の特色がうまく出せていない (経営的側面で)	29.3	-1.9
D-d) 特別(企画)展が開催できない	29.6	-1.2
A-d) 館長のマネジメントが不十分	27.3	-

赤：増加率が3%以上、青：減少率が3%以上、黄：今回初出の設問

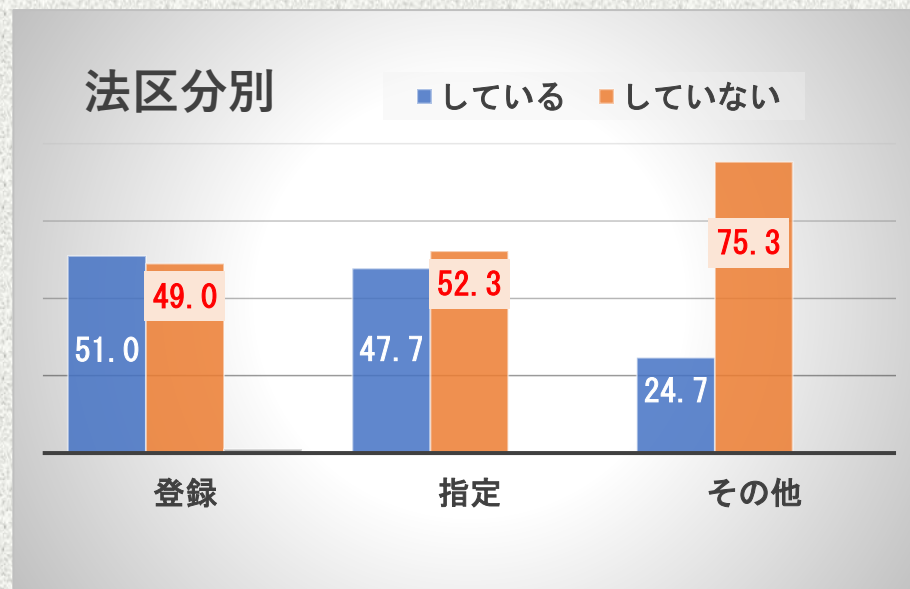
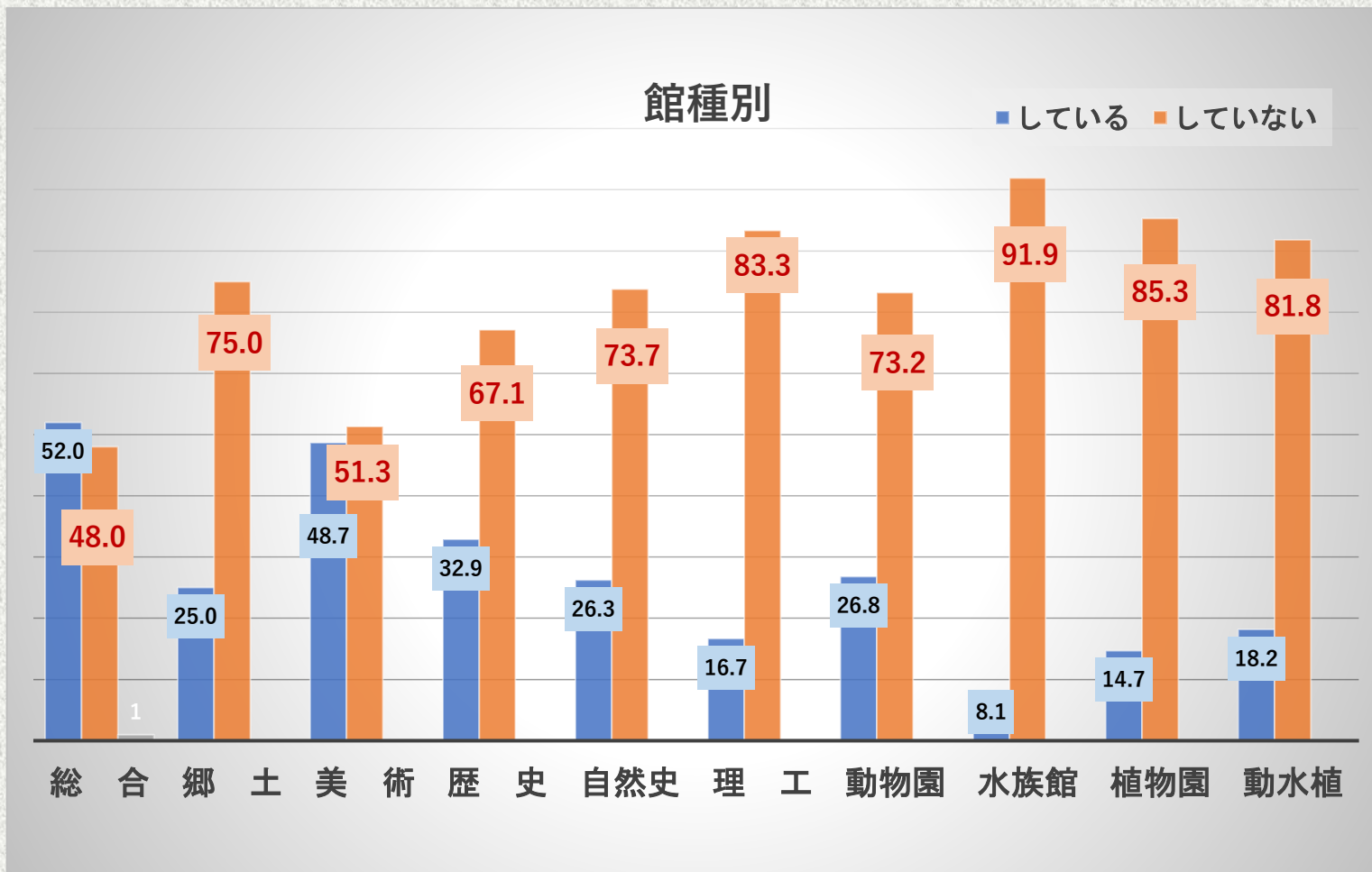
日本の博物館の現在地 2

現場の取り組みを支える基盤の整備状況は
厳しさを増し、博物館の持続的な運営を支
える基盤は**危機的状況に向かいつつ**ある。

資料収集保管の基本方針

【速報版 6(1)】

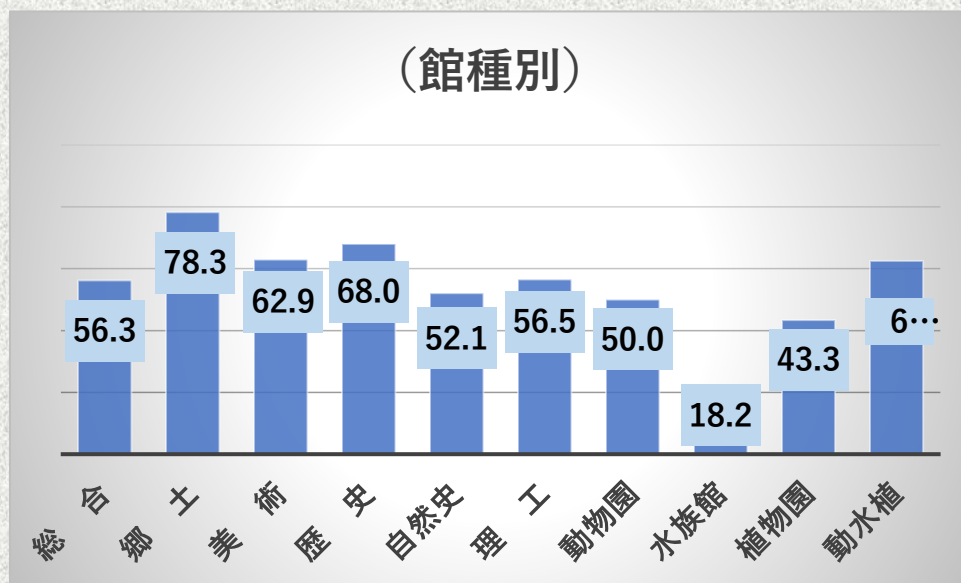
・コレクションポリシーを明文化している博物館は34.4%



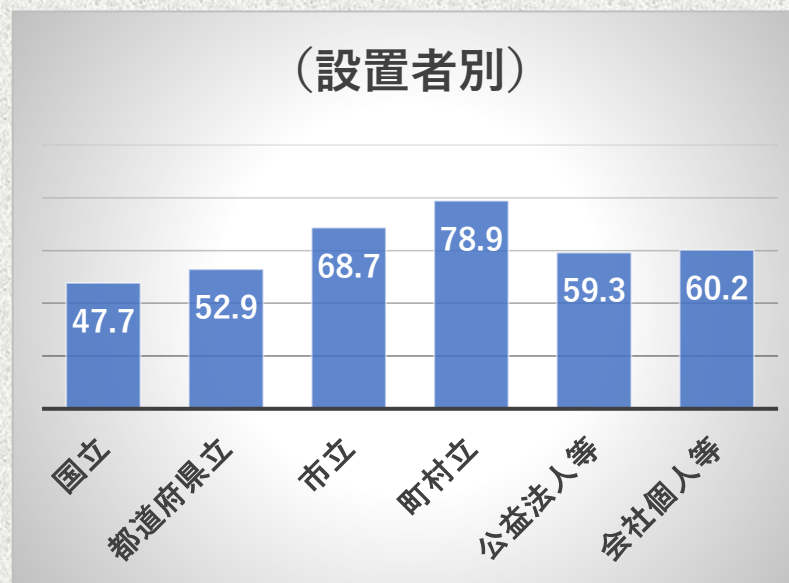
資料収集（購入予算） 【速報版 6(3)】

- 資料購入予算がない博物館が全体の65%
- 100万円未満を含めると9割弱

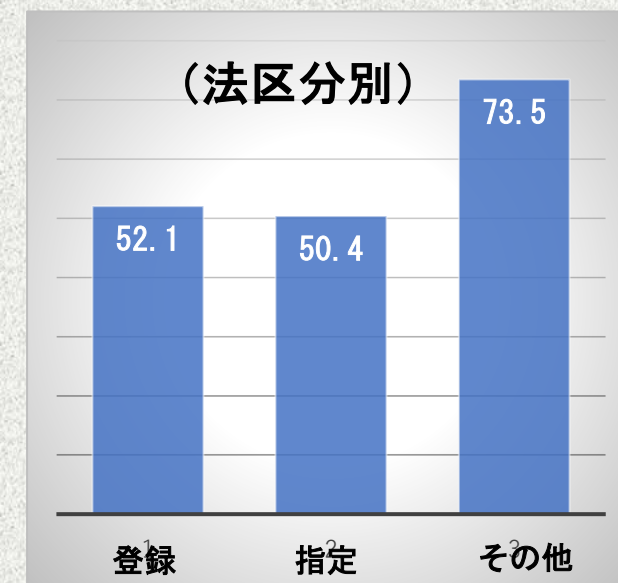
(館種別)



(設置者別)

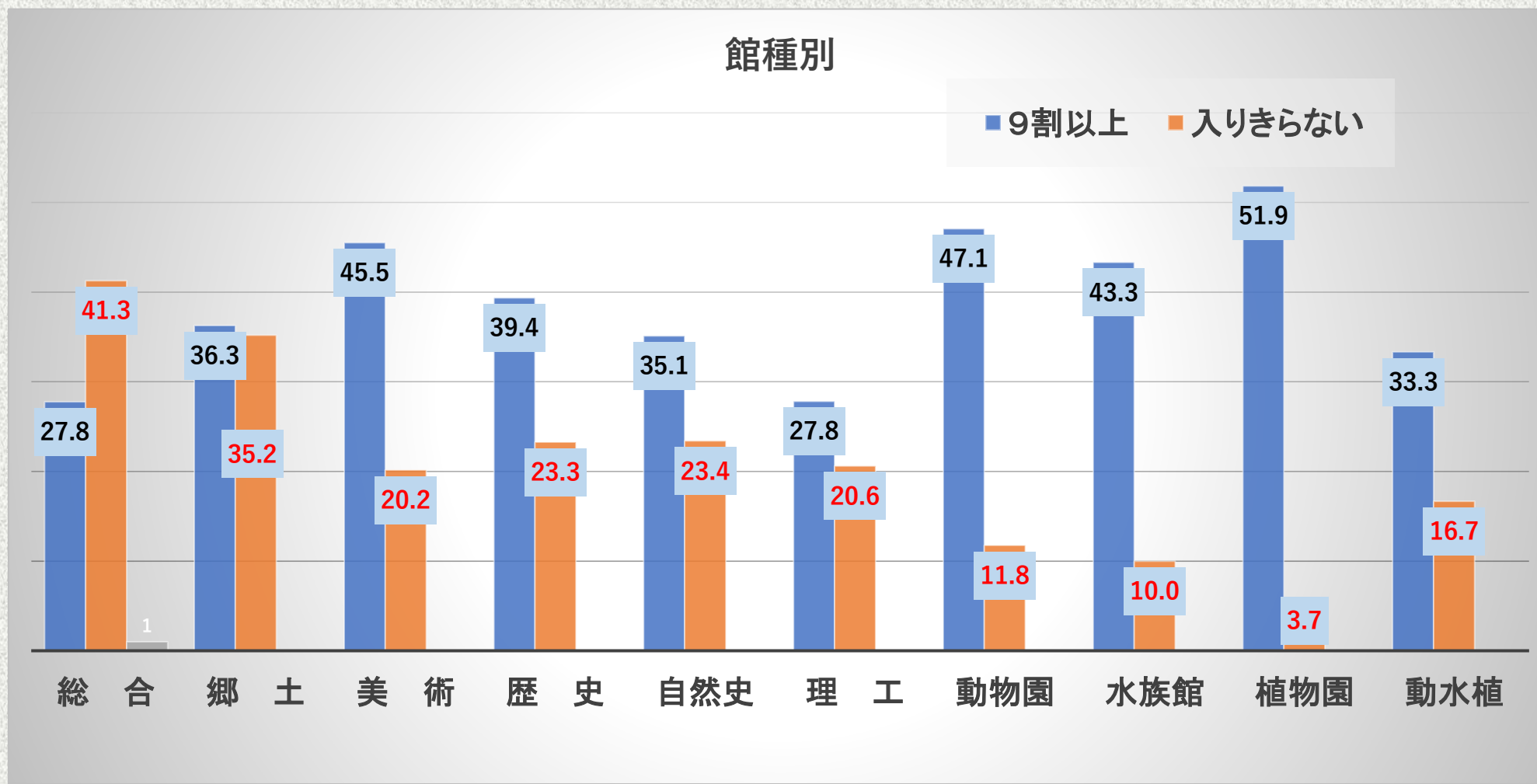


(法区分別)



収蔵庫の状況 【速報版 6(4)】

- 収蔵庫の使用割合：9割以上が39.3%、入りきらないが24.4%



「各博物館の課題」で7割以上の項目 (課題感が増加している項目) 【速報版 21(2)】

表21-1 各博物館の課題(全体) 回答数:2,237~2,282 「Q25-1」

(%)

「あてはまる」「まああてはまる」の合計が <u>50%を超えた</u> 項目 (43項目中33項目、降順)	あてはまる・ まああてはまる	前回調査から の増減
C-b) 外国人向けの対応が不十分である。	86.5	2.0
D-e) ICTを利用した新しい展示方法が導入できていない	84.3	3.7
G-b) 施設設備が老朽化	80.4	5.2
E-e) ウェブサイト等での資料情報公開が不十分	80	2.5
E-d) 資料や資料目録のデジタル化ができていない	78.7	4.8
E-g) 収蔵スペースが不足	77.8	5.7
A-i) 財政面で厳しい	77.4	-1.6
B-a) 職員数が不足	73.2	0.0
D-a) 調査研究が進んでいない	72.6	0.3
E-c) 必要な資料整理が進んでいない	72.1	1.2
E-c) 必要な資料整理が進んでいない	72.1	1.2
C-a) 入館者が確保できていない	70.7	-0.7
C-a) 施設が老朽化	66.9	1.0

「博物館界が抱える課題」で7割以上の項目 (課題感が増加している項目) 【速報版 21(2)】

表21-2 博物館界の課題(全体) 回答数:2,186～2,207 「Q25-2」

項目(降順)	(%)	
	あてはまる・ まああてはまる	前回調査から の増減
i) 国や地方公共団体の博物館振興策が十分ではない。	79.5	6.8
k) 市民、国民が博物館を支援する体制ができていない。	76.1	5.2
h) 日本の博物館の国際化が進んでいない。	70.3	5.3
g) 日本の博物館界と博物館界以外の連携・協力が十分ではない。	67.6	3.1

日本の博物館の現在地 3

現在地から「これから」を考える

- * 博物館の現場・設置者・施設の所管部署の対話と連携
- * 国・自治体の博物館支援政策の拡充
- * 博物館現場の意識革新と社会に「開く」事業展開
- * 現場の博物館運営を支援する **中間支援機能**の充実
- * 社会・利用者の声を聞く耳、柔軟な対応体制
- * 未来への責任、社会資本・公共への奉仕者としての自覚

博物館に求められる
「未来への責任」を果たすために
日博協もがんばります！

今年度の事業のトピックをご紹介します

I 普及啓発事業（情報発信・課題共有・提言）

- 第33回全国博物館長会議（共催：文化庁）

- * 7月10日(金) 東京・文部科学省講堂で開催

- * テーマ：「新しい発想で博物館の機能を強化する」

- 第74回 全国博物館大会

- * 11月18日(水)～20日(金) 岩手県盛岡市（岩手県民会館 他）で開催

- テーマ：「地域の未来と博物館

- ～東日本大震災発生から15年を経て～」

- 月刊誌『博物館研究』

- * 統計、新館・イベント紹介、特集、ICOM・海外情報

- 投稿原稿もお待ちしています

II 博物館支援事業（博物館への支援・情報発信の強化）

・ 全国の博物館の整備・支援機能の強化

＊車いす、ベビーカーの配布

令和8年度：車いす(65台)、ベビーカー(65台)を配布予定（日本宝くじ協会助成）

・ 博物館のリスクマネジメント体制づくりへの支援

＊会員館園を構成員とする博物館の傷害・賠償保険の加入

● 指定管理者向けプラン／お見舞金支給 など

● 展示資料等、動産保険についてもお問合せください

・ ホームページ機能の強化

＊「博物館への寄付ポータル 未来を創る仲間づくり！」

https://www.j-muse.or.jp/donation_portal/

ご活用ください！

＊会員館園相互の情報交換機能の充実（パスワード取得館約 800館）

博物館のクラウドファンディング紹介

広く社会に支援を呼びかけるクラウドファンディングは資金調達にとどまらず、博物館やその活動に共感するファンや仲間を広く増やすことができます。また、博物館活動の価値や魅力を発信することで、その意義を社会と共有することができます。

日本博物館協会は、クラウドファンディングに取り組む博物館を応援することで、博物館が地域の未来に貢献できるお手伝いをしています。

（画像やテキスト部分をクリックすると、各館のホームページなど外部ページに移行します）

最高級の壁面制作のために築かれた
山のアトリエ
国登録有形
文化財を未来へ

消えゆく創造の源を救いたい！日本画の巨匠・堂本印象の「山のアトリエ」復活への挑戦

ソーシャル… 堂本印象美術館

121%

現在	参加者	残り
6,079,000円	152人	6日

開けシャッター！
町屋保存プロジェクト
相川考古館
NEXT GOAL 1000万円
への挑戦

開けシャッター！相川考古館の挑戦 江戸時代からの商店が残る街の建物リノベーション

ソーシャル… aikawakou...

SUCCESS

現在	参加者	残り
5,587,828円	221人	終了

クラウドファンディングに挑戦したい博物館はご相談ください。

クラウドファンディングに挑戦してみたいけど何から始めたらよいかわからない、プロジェクトの企画や実施を進めるにあたって支援してもらいたいという博物館はリンクよりお問い合わせください。

博物館と連携している団体（NPO団体や友の会など）からのお問い合わせも可能です。

お問い合わせ →

一般寄付

広く一般の皆様に寄付を募っている博物館をご紹介します。
(画像やテキスト部分をクリックすると、各館のホームページなど外部ページに移行します)



滋賀県立琵琶湖博物館

滋賀県立琵琶湖博物館「琵琶湖博物館応援寄付」

寄付期間 通年募集しています。

琵琶湖博物館の理念にご賛同いただき、ご支援をお願いいたします。滋賀県外に本社がある企業の場合は、企業版ふるさと納税が適用されます。



目黒寄生虫館

博物館の維持と発展のための寄付を受け付けています

寄付期間 通年募集しています。

目黒寄生虫館は創設者で初代館長・亀谷了の「啓発活動にお金を取ってはならない」という意志を受け継ぎ、70年以上にわたり入館無料の方針を維持しています。しかし、博物館の維持には基本財産の運用益だけでは補えないため、広く皆様からご寄付を受け付けています。館内には募金箱があります。また、銀行振込、郵便振替、PayPal、クレジットカード送金、SoftBankつながる募金など各種決済方法をご用意しております。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



歴史博物館・歴史遺産応援寄付金チラシ

岐阜市歴史博物館

【岐阜市】歴史博物館・歴史遺産応援寄付金募集！

寄付期間 通年募集しています。

戦国時代、斎藤道三公が築き、織田信長公が天下統一への拠点としたまち、岐阜市。『信長公のおもてなし』が息づく戦国城下町・岐阜」として日本遺産に認定されており、市内には関連する有形・無形の歴史遺産が多く存在しています。岐阜市歴史博物館は、このような戦国時代を中心とした地域の歴史文化を幅広く紹介するとともに、文化観光の拠点としての役割も担っています。

そこで、貴重な歴史資料・歴史遺産を絶やすことなく次世代へ継承していくためまた、その気運醸成の仕組みとするため、岐阜市が日本遺産であることをPRするとともに、歴史遺産を今日で絶やすことなく次世代へ継承していくため寄付金を募集します。

皆様のご協力をお願いいたします。

* ジャパンサーチ連携にかかる所蔵作品データ提供機関の募集について

博物館情報の社会への公開・共有の促進

- 日本博物館協会は、ジャパンサーチへ所蔵作品データを提供する博物館園を全国的に取りまとめる「つなぎ役」を担うことになりました。
つきましては、所蔵作品データを提供いただける機関を募集いたします。
詳細は、以下の資料をご参照ください。

[1. ジャパンサーチ連携にかかる所蔵作品データ提供機関の募集について](#)

[2. 別添資料 「（説明資料）ジャパンサーチとの連携は？」](#)

・大規模災害等への対応

- ＊ 日博協「博物館絆プロジェクト」：大規模災害等で被災した博物館・文化財への支援
 - ◎ 能登半島地震；
 - ＊ 現地での救援活動への職員派遣
 - ・文化庁から国立文化財機構 文化財防災センターの救援事業は終了
 - ★派遣実績：令和6・7年度で延べ251人
 - ＊ 今後、石川県からの要請を踏まえ、必要に応じて支援活動の実施を検討
 - ◎ 川崎市市民ミュージアム等への被災文化財修復活動への支援の継続
 - ＊ 被災資料の安定化処理作業への参加者派遣 情報発信事業での連携 など
- ＊ 募金・寄附金の募集（今後の大規模災害への対応）
- ＊ 大規模災害等の救援等の事業に職員を派遣できる会員館園の登録依頼
 - ★令和8年度登録館園数：76施設

III 調査研究事業(博物館振興・制度的課題への取組)

- 博物館法改正と今後の博物館制度の在り方

- * 令和8年度 文化庁博物館機能強化推進事業

- 「新登録制度推進事業及び博物館総合サイト運営」の受託

- 登録博物館制度の拡充

- 博物館総合調査

- * 調査へのご協力有難うございました。

- * おかげさまで2300館以上から回答をいただきました。回答率53%

- * 3月末に概要データを「速報版」として公開しました。

- * 現在、報告書の作成を進めています。

IV 資質向上事業（課題検討・学芸員等職員のスキルアップ）

・研究協議会（研修会）・シンポジウム等の開催

- ＊資料の収集・管理、収蔵庫問題
- ＊学芸員の人材育成
- ＊持続的経営基盤の整備 etc.

・顕彰

- ＊博物館への功労表彰：永年勤続、博物館への寄附・寄贈
- ＊「博物館研究」掲載の論考対象：棚橋賞
- ＊各館の活動報告から選考する博物館活動奨励賞
- ＊日本博物館協会賞
 - 第5回受賞施設：小樽市総合博物館
 - 第6回受賞施設：伊丹市昆虫館
 - 第7回受賞施設：高知県立高知城歴史博物館

・美術品等梱包輸送技能取得士資格認定事業

＊背景

- 高度な技術を持つベテラン職員のリタイア（輸送業界）
- 学芸員の資料取扱い技術の低下
- 美術品の国家補償制度の導入等への対応



＊テキスト『博物館資料取扱いガイドブック』（2訂） **ご活用ください！**

＊平成26年度から3級～1級試験を本格実施

令和7年度現在の有資格者数（3級；594名、2級；305名、1級；41名）

＊当面は輸送梱包業者の社員を対象に実施

- **安定した試験実施体制の確立**
- **審査できる専門家の確保**
- **制度全体を維持する資金的基盤の整備**
- **学芸員に対する研修・講習実施の検討**



V 国際交流事業(海外博物館との交流・連携・協働・情報発信)

- 国際博物館の日（5月18日）記念事業

- * 令和8年度；

- 「“Museums Uniting a Divided World”（分断された世界をつなぐ博物館）」

- 無料（減免）開館、記念品贈呈、地域連携イベント等 約200施設

- * 記念シンポジウムの開催（5月24日：国立科学博物館）

- ICOM倫理規程の改定（2026年6月の総会で採択）

- https://icom.museum/wp-content/uploads/2026/06/Code-of-Ethics_2026_EN-1.pdf

- * 日本語版の作成準備

- * 日本博物館協会の「博物館の原則」「博物館関係者の行動規範」の改定

日博協は 2028年に百周年を迎えます
博物館振興のために歩んだ100年を
振り返り 記念事業も計画します

100年を祝うイベントとしてではなく
これからの博物館振興のために
再出発していきます！

引き続きのご協力・ご支援を
よろしくお願いいたします。